

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちびっこBA-NA		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼・夕礼の強化 連絡帳の読み上げ・共有を行い、少しでもわからないことはその日のうちに解決しておく 残業をしないよう、仕事の分担を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を細かく配分し、業務を行う 手伝えること、手伝えない事を分類し、適材適所で仕事を する 仕事の見える化を強化し、時間を持って余さないようにする 他部署からの意見を取り入れる
2	環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 空間的→静養室、活動スペースを分離し、個々の様子に合わせた 怪我のないようマットを敷き詰めている(車椅子のスペースには硬めのマットを敷く) 人員の充実 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフに対しての面談を行いメンタルケアをしていく 寄りよく過ごしてもらえるよう不具合があればすぐに対処 する
3	非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> 避難確率を上げるため一階へ移動 部屋の間仕切りを少なくし、広く利用者が見えるようにしている 避難経路の確保を普段より行う 虐待・身体拘束の研修 	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導の確認 避難訓練の強化 避難時携帯品を普段より確認する 虐待・身体拘束の研修強化

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ個々での話し合いが多く、全員での共有が少ない 何でも話せるようにしてはいるが、一人ひとりの思いが強くなかなか進んでいかないことが多い 決めた内容がその日の利用者の様子に合わなくても遂行してしまう 	<ul style="list-style-type: none"> 共有することの意味をはき違えず、何に関しても話せるようにする 個々に合わせた支援を考えるために、個々を知る
2	関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ個々での話し合いが多く、全員での共有が少ない 何でも話せるようにしてはいるが、一人ひとりの思いが強くなかなか進んでいかないことが多い 関係連携機関との連携が弱い 相互理解できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 共有することの意味をはき違えず、何に関しても話せるようにする 保護者会や、参観日など設けて懇親する
3	保護者への説明等	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画などは毎回話せているが、イベントごとなどの周知が少ない 時間が合わず連絡が遅くなることもある 	<ul style="list-style-type: none"> 共有することの意味をはき違えず、何に関しても話せるようにする 保護者会や、参観日など設けて懇親する